

てえ燃るく明る火の進前

清新・埼玉国体おわる

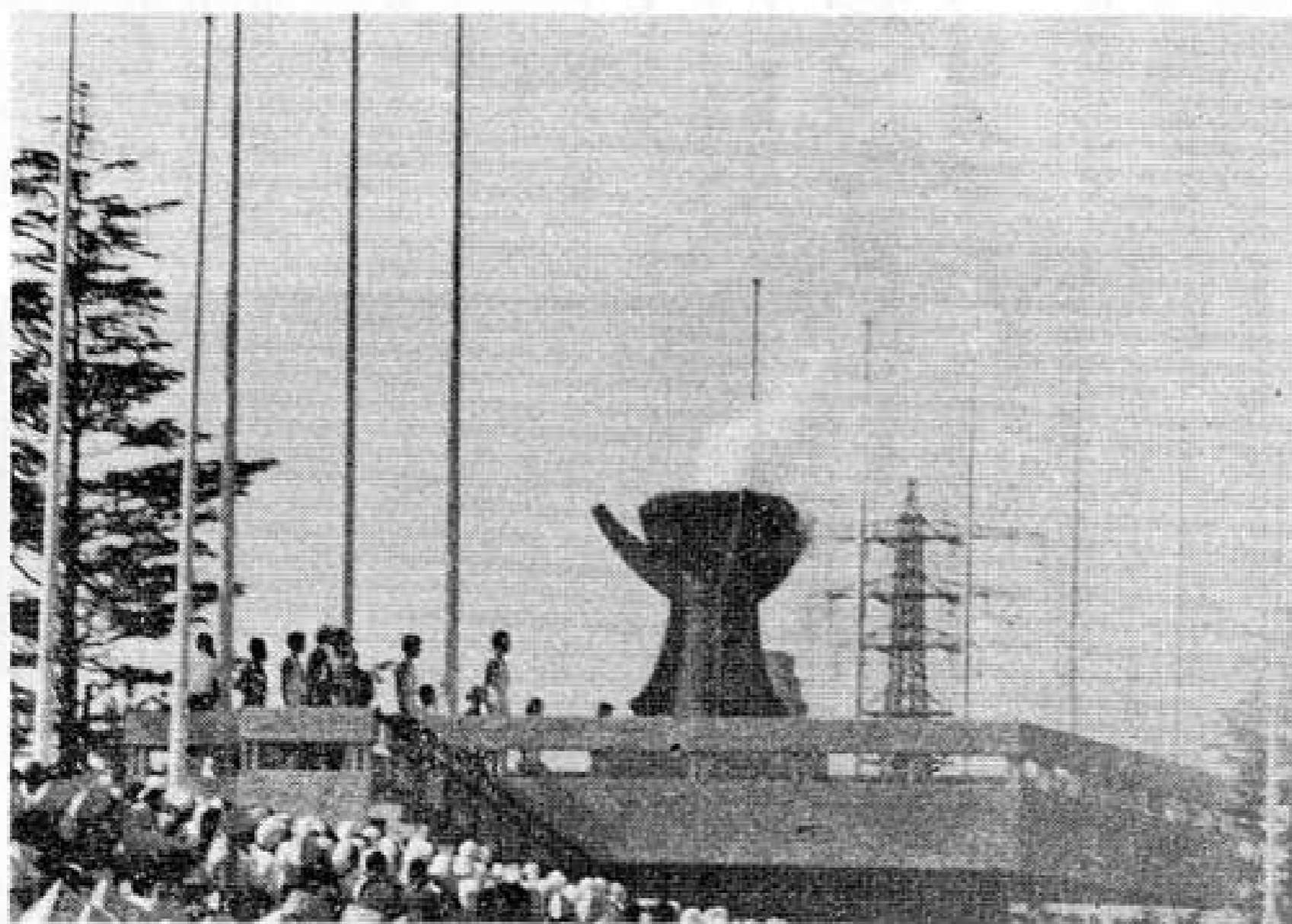
埼玉県民こそ、まごころで迎えた第二十二回国民体育大会は長い努力が実を結び、菊の香のもと町に村に美しい、そして健康に溢れる花を咲かせその幕を閉じました。

天皇杯（二三七点）皇后杯（九七、五）の獲得の喜びは勿論のこと埼玉国体の意義は私達県民の一人一人が、今後前進するにふさわしく、まことに大きなものがあつ

たとおもいます。町を通過した国体旗のリレーもみなさんの期待と笑顔と拍手に迎えられ無事その責任を果しました清新の火が静かに消えた今、私達は、いろいろの批判はさることながら、とにかく「みんなが協力し合えば健康な明るい社会が生まれる……」ことを目標に、さらに勇気をあらたに進まなければならないでしょう。

明日にむかって！

× × × × ×



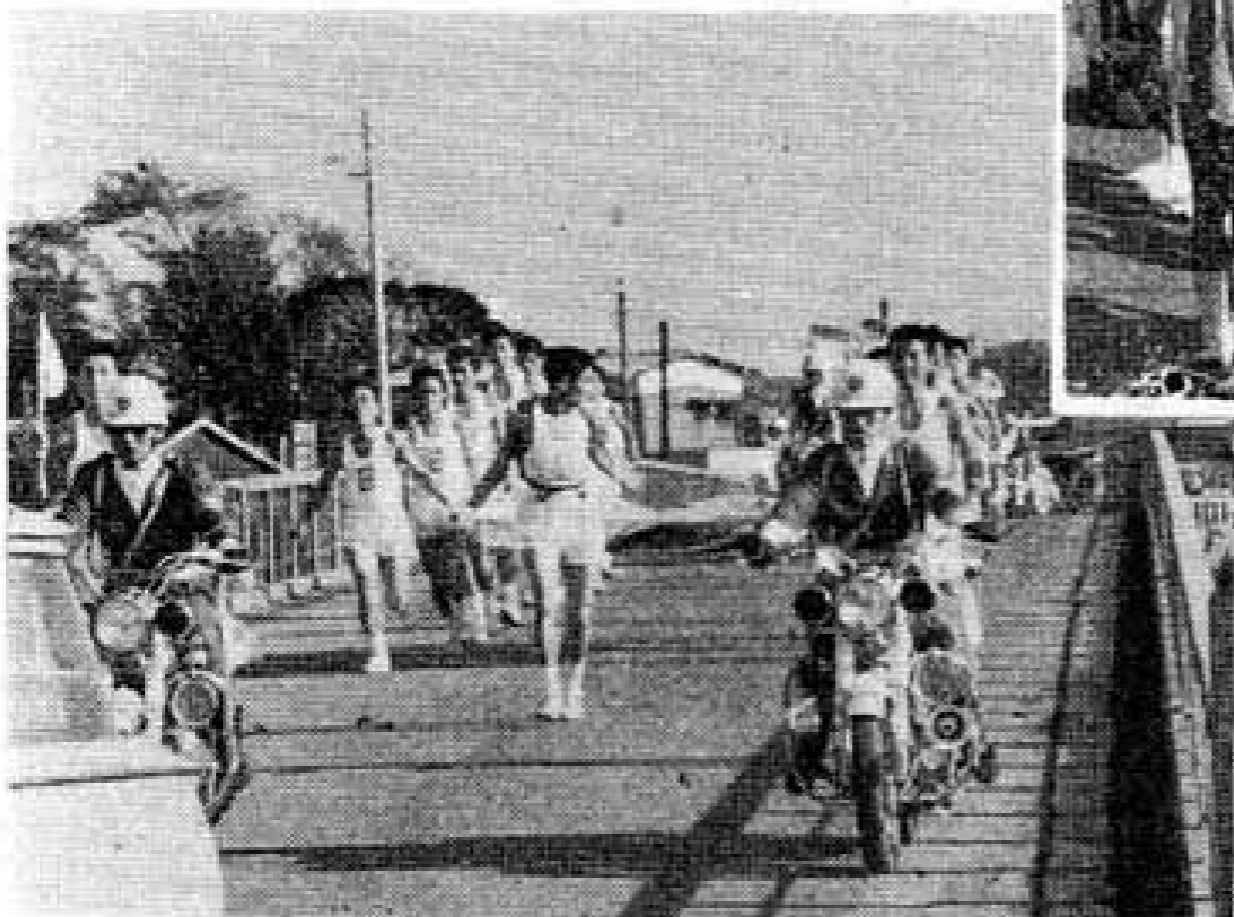
写真説明 国体の序曲、八潮町旗リレーは三回のリハーサルを重ねて十月十九日日本番実施、国体旗は町の南端京成地区バス車庫前で、両町の方々が沿道に並び送迎する中で、午後二時三十四分中継されました。

「ご苦労さまでした」太田八潮町長と各走者。
「お願いします」……白石三郷町長と各走者。

中川の流れを境に接する八潮三郷両町の思いがけぬ親善風景に沿道から盛んな拍手が送られました。

定刻どおり県警白バイに先導された大会旗は、午後秋の日さしを一杯に潮止ばし通過第二中継地点に……

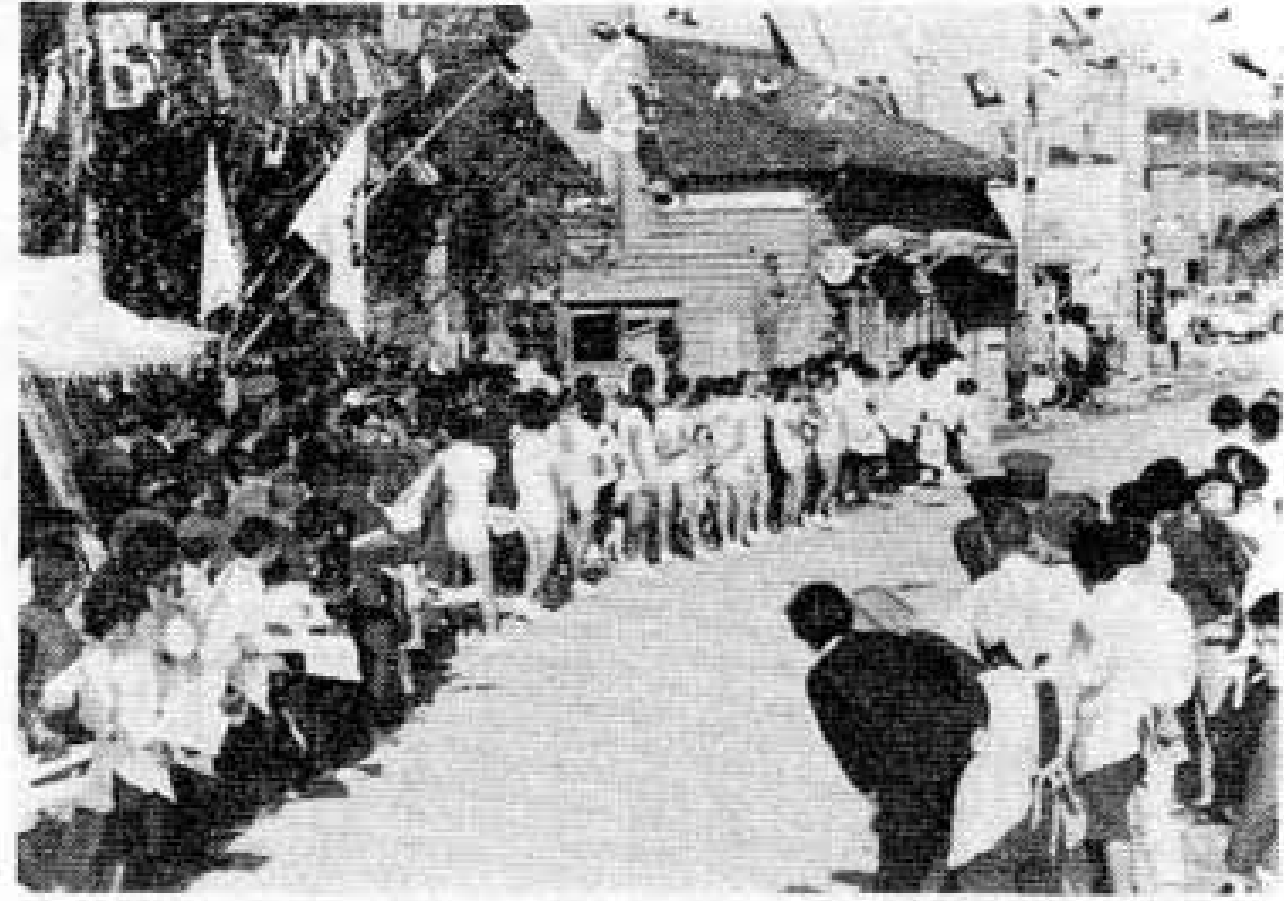
写真右（京成バス車庫前で三郷町から大会旗受継ぎ）
写真下（潮止橋通過）



おもしろい記録

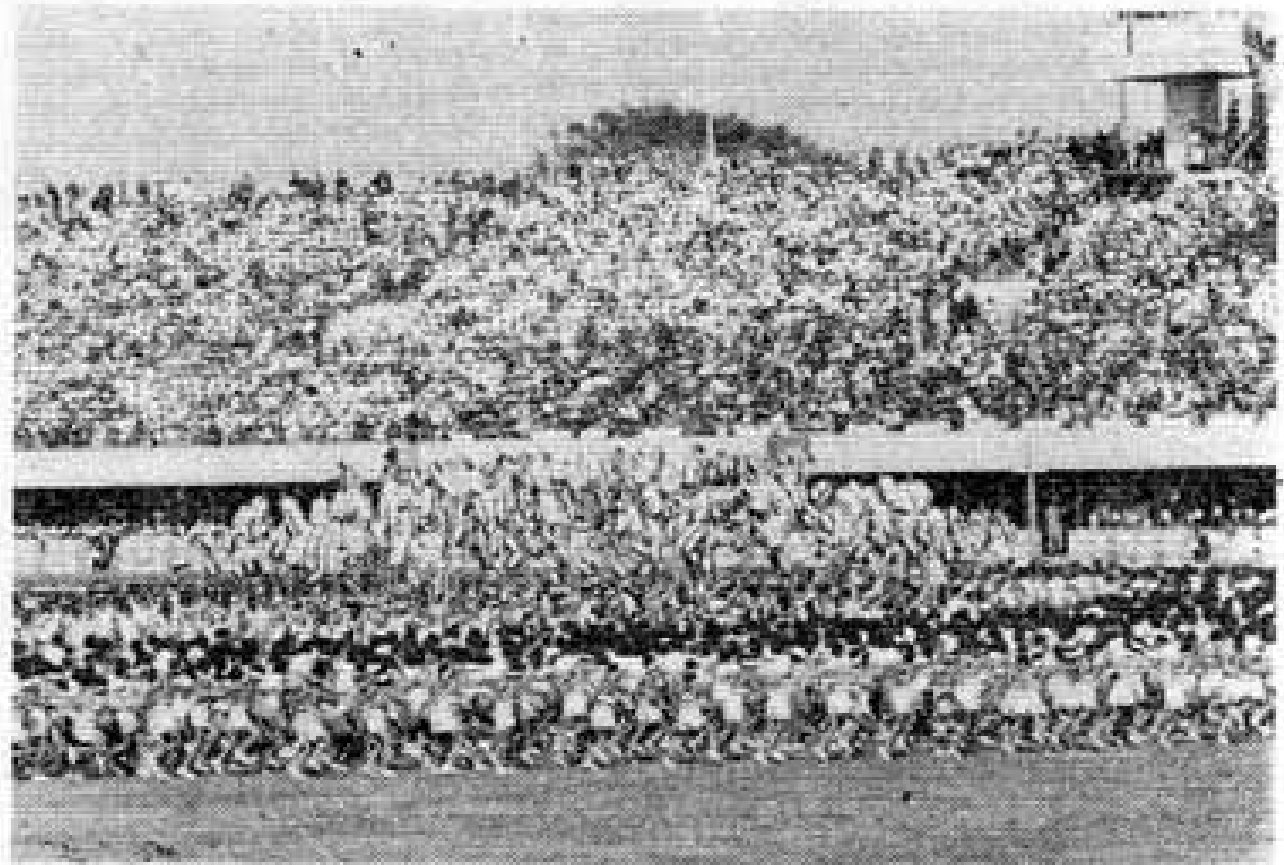
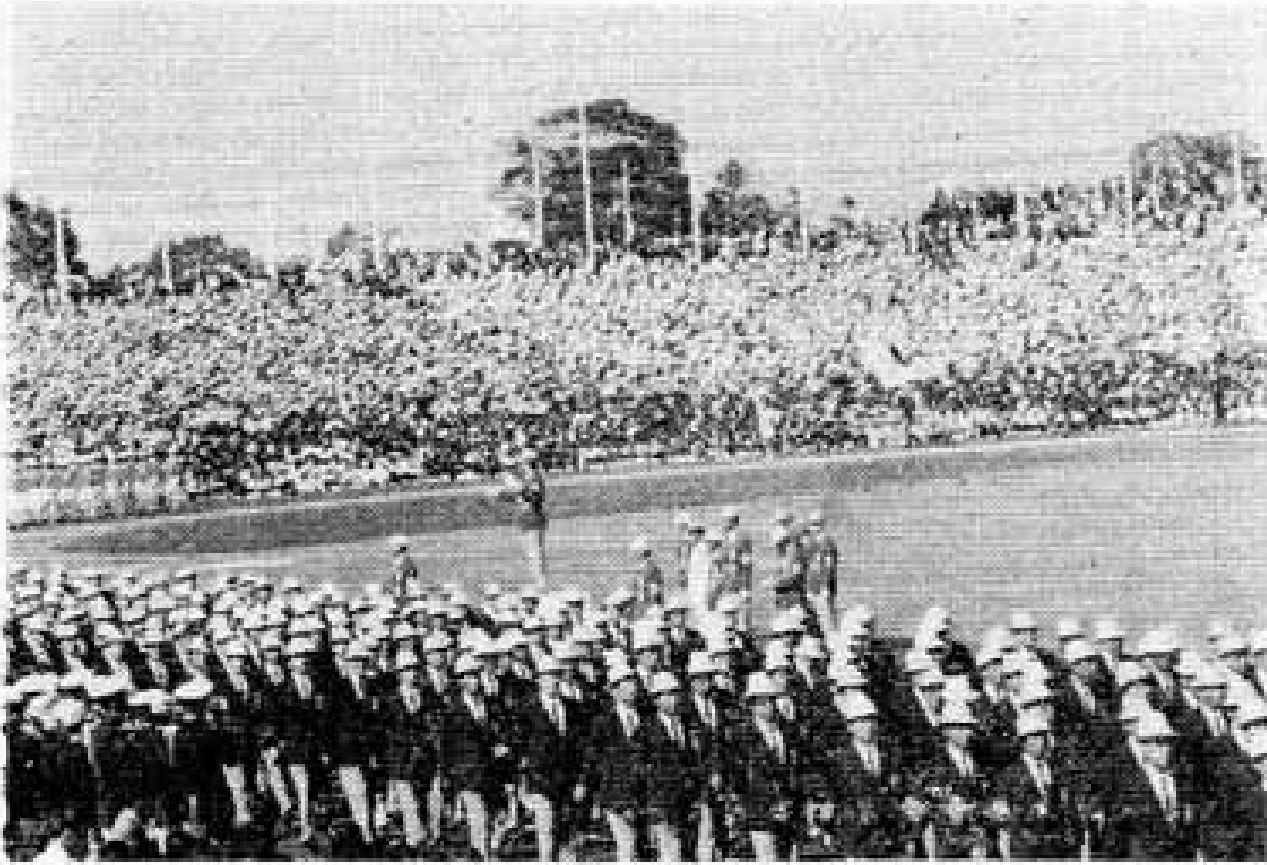
写真説明 役場前には国体推進のための本部が設けられ沿道は手に手に日の丸と国体旗の小旗を持った歓迎の方達の人垣ができ、今か今かと到着を首を長くして待ち望んでいました。

最近はとくに、スポーツに対する理解はひとり青少年だけに限らず、老弱男女を問わず関心が高まりつゝあることは、まことに喜ばしいことです。



写真説明 最終リレー走者は川上中学校校長を隊長とする中学校女子生徒、役場女子職員計二十一名に受けつがれ、草加市に向かって出発、白のユニホームは若さと健康に溢れ、清新国体の名にふさわしいものでした。

綾瀬川対岸の草加市境地点まで無事にリレーの責任を果たしたあともなお感激と喜びは一杯の表情でした。



写真左 堂々入場行進する埼玉選手団

写真右 緑の芝生にはち切れんばかりの子供達のアトラクション

上尾競技場開会式から



砲丸投二位入賞

鈴木先生ことしも健斗

昨年の大分国体に引きつづき、埼玉国体に県代表として再出場した、八潮中学校鈴木完二先生はすでに新聞等でご承知のとおり教員男子砲丸投の部で活躍、13米62の好記録を樹立し、第二位入賞の榮譽を勝ち得ました。

(写真Ⅱ表彰台に立つ鈴木完二先生)
なお大分国体では鈴木先生の記録は13米22で第三位入賞。